

## 「いわて八重の輝きブルー」における挿し穂冷蔵法

## 【概要】

- 1 挿し穂の冷蔵期間（表1）  
冷蔵期間が8週間までは、高い成苗率を維持できます。
- 2 開花期への影響（表2）  
冷蔵期間が長くなるにつれて、開花期は遅くなるので継続出荷が可能になります。
- 3 草姿への影響（図）  
冷蔵期間が長くなるにつれて、草丈が低くなり、側枝数や花蕾数も減少します。

## 【試験データ等】

表1 冷蔵期間と成苗率

冷蔵期間	成苗率 (%)	
	R4年	R5年
0週間(無冷蔵)	100	100
2週間	100	100
4週間	100	100
6週間	0 <sup>*1</sup>	100
8週間	98	100
12週間	0 <sup>*1</sup>	39 <sup>*2</sup>

\*<sup>1</sup> 冷蔵中の乾燥により枯死\*<sup>2</sup> 挿し木後の育苗中に枯死

表2 冷蔵期間による開花期の違い

冷蔵期間	摘心回数	R5年		
		挿し木	開花期	挿し木～開花期(日)
0週間(無冷蔵)	2	4月12日	9月30日	171.7
2週間	2	4月27日	10月8日	164.6
4週間	2	5月11日	10月15日	157.8
6週間	2	5月25日	10月31日	159.5
8週間	2	6月8日	11月9日	154.2

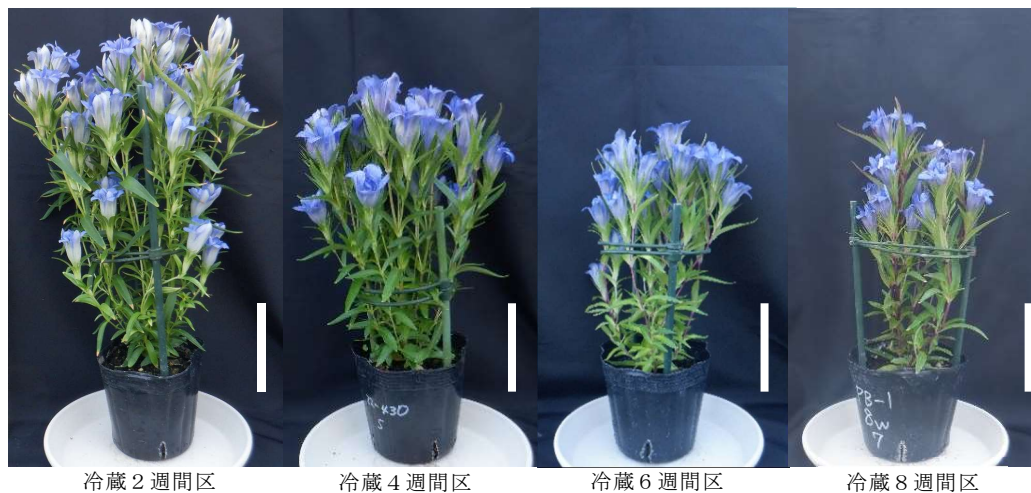


図 各冷蔵期間における草姿(R5) スケールバー=10.0 cm

【令和5年度成果】鉢花りんどう「いわて八重の輝きブルー」における挿し穂冷蔵法の適用性 (R5-指-30)